

令和6年度静岡県薬物乱用防止県民大会開催要領

1 趣旨

麻薬、覚醒剤、大麻、危険ドラッグ等の薬物乱用は、乱用者個人の健康上の問題にとどまらず、犯罪の誘因など公共の福祉に計り知れない危害をもたらすものである。特に、最近では、大麻が次代を担う若者に拡大し、極めて憂慮すべき状況にある。

このような事態に対処するため、本大会を開催し、県民一人ひとりに薬物乱用による弊害を認識させ、薬物乱用防止に対する気運を盛り上げることにより、啓発活動の輪を広げ、薬物乱用の根絶を図る。

2 日時

令和6年11月30日(土) 14時00分から16時15分まで

3 場所

森町文化会館(ミキホール)大ホール
(静岡県周智郡森町森1485)

4 概要

- ・ 表彰
薬物乱用防止功労者
厚生労働大臣感謝状(国)
厚生労働省医薬局長感謝状(国)
静岡県知事褒賞(県)
- ・ 特別講演
- ・ アトラクション
- ・ 大会宣言

5 主催

- ・ 静岡県薬物乱用対策推進本部

6 共催

- ・ 森町
- ・ 森町教育委員会
- ・ 静岡県薬物乱用防止指導員協議会

7 後援

- ・ 公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター

8 参加者(予定)

- ・ 静岡県薬物乱用防止指導員
- ・ 医薬品等関係団体
- ・ ボランティア関係団体
- ・ 運輸業界団体
- ・ 不動産業界団体
- ・ 青少年育成関係団体
- ・ 教育関係者
- ・ 市町担当者
- ・ 自治会関係者
- ・ 精神保健福祉センター
- ・ 一般県民 他

9 次第

- | | |
|--|-------|
| ◆開会
静岡県薬物乱用防止指導員協議会 会長 | 14:00 |
| ◆挨拶（予定）
・ 静岡県副知事
・ 森町長 | 14:05 |
| ◆来賓挨拶（予定）
・ 静岡県議会議長 | |
| ◆来賓、主催者の紹介 | 14:15 |
| ◆表彰
・ 薬物乱用防止功労者 | 14:25 |
| ◆休憩 | 14:40 |
| ◆特別講演
市販薬のオーバードーズの理解と支援
～「助けて」が言えない子どもたち～
嶋根 卓也 氏
(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 心理社会研究室長) | 14:50 |
| ◆アトラクション
箏曲合奏「Sarah～過ぎ行く時～」
森町立森中学校 音楽部 | 15:50 |
| ◆大会宣言
静岡県立遠江総合高等学校 生徒代表 | 16:05 |
| ◆閉会
西部地区薬物乱用防止指導員協議会 会長 | 16:10 |

令和6年度

参加無料

静岡県薬物乱用防止県民大会

日時

令和6年11月30日(土) 14:00-16:15
(13:00 受付開始)

会場

森町文化会館(ミキホール) [大ホール]
(静岡県周智郡森町森1485)

新東名高速・森掛川インターチェンジより車で約5分(駐車場「無料」)
東名高速・袋井インターチェンジより車で約20分(駐車場「無料」)
天竜浜名湖鉄道・森町病院前駅から徒歩で約5分

薬物乱用防止功労者表彰(14:00~14:40)

特別講演(14:50~15:50)

市販薬のオーバードーズの理解と支援 ～「助けて」が言えない子どもたち～

近年、私たちの生活に身近な医薬品である市販薬の乱用が若者を中心に広がっています。
この講演では、市販薬の乱用問題を理解するとともに、薬物問題を抱えた若者の支援についてお話します。
一人ひとりができる薬物乱用防止について考えるきっかけになれば幸いです。

講師

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 薬物依存研究部 心理社会研究室長

嶋根 卓也 氏



東京薬科大学薬学部卒業、順天堂大学大学院医学研究科修了、薬剤師、医学博士
専門は公衆衛生学・疫学。薬物乱用・依存に関する全国調査を担当するほか、中高生を
対象とした予防教育、少年院の薬物プログラムにも従事
厚生労働省「医薬品の販売制度に関する検討会」の有識者として参加

アトラクション・大会宣言(15:50~16:15)

◆お問合せ

静岡県健康福祉部生活衛生局薬事課
TEL: 054-221-2413 FAX: 054-221-2199 E-mail: yakuji@pref.shizuoka.lg.jp

◆主 催
◆共 催
◆後 援

静岡県薬物乱用対策推進本部
森町、森町教育委員会、静岡県薬物乱用防止指導員協議会
(公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター